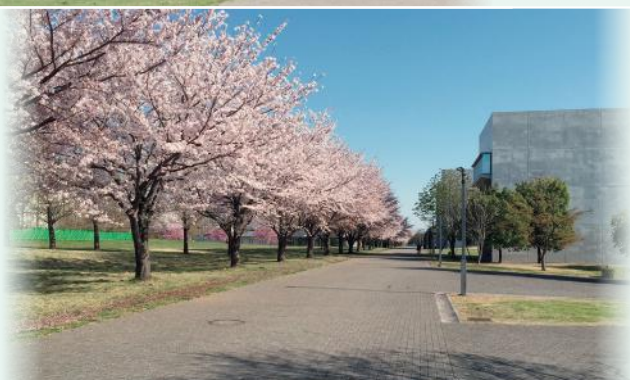


2025年



東京理科大学 薬学部同窓会へようこそ



C O N T E N T S

1. 会長あいさつ
..... 2
2. 同窓生からのメッセージ
..... 2・3・4
3. 東京理科大学薬学部同窓会に
ついて
..... 5
4. 同窓会会則
..... 6・7
5. 東京理科大学薬学部同窓会への
お問い合わせ
..... 8



東京理科大学薬学部同窓会

東京理科大学薬学部同窓会は、1987年（昭和62年）に発足し、現在では1万人の卒業生で構成される大きな組織となりました。2015年（平成27年）から理窓会の関連団体として活動しています。理窓会は大学全体に、薬学部同窓会は主に薬学部にも、支援、協力をしています。



会長あいさつ



東京理科大学薬学部同窓会会長

上村 直樹 (23期)

皆さん、こんにちは！

私は東京理科大学薬学部同窓会会長の上村直樹です。私たちの薬学部同窓会が若い世代にとってどれだけクールで有益な場であるか話したいと思います。

薬学部同窓会は、新たなアイデアを共有し、未来の薬学トレンドを見据え、若いプロフェッショナルのためのプラットフォームです。ここでは、皆さんが変革を起こし、自身のキャリアをデザインするためのインスピレーションを得られます。

私たちは、定例会や総会を定期的で開催し、皆さんが自分の夢を叶えることを手助けしています。リアルでもオンラインでも、私たちのイベントはいつでもアクセス可能です。遠方にいる方でも、一緒に学び、成長するために参加できます。総会の特別講演では、最先端の薬学知識を学びながら、業界のリーダーたちと直接会話する機会を提供しています。

さらに、私たちは卒業5年以内の同窓若手専門家達による就職懇話会や実践社会薬学講座などのプログラムを用意しています。在学生に将来の仕事を想像してもらう機会を作るためです。

「同窓会って、実際にいいの？」そんな疑問を持つ方もいるかもしれませんね。答えは簡単です。ここは、次世代をリードするための皆さんのステージです。そして、その価値は行動を起こし、参加することで確信できるものです。

では、皆さんを定例会や総会でお待ちしています。

それらの情報は薬学部同窓会 LINE 公式アカウントを登録していただければ届きます。またはホームページをチェックして、同期の友人を誘ってご参加ください。

未来は私たちの手で創るものです。一緒に切り拓いていきましょう！

● 同窓生からのメッセージ



野村 香織 (34期 平成9年(1997年)製薬学科卒)

【略歴】

1997年 広島県

2001年 厚生労働省、PMDA (欧州医薬品庁赴任含む)

2008年 くすりの適正使用協議会

2011年 英国リバプール大学公衆衛生修士課程修了

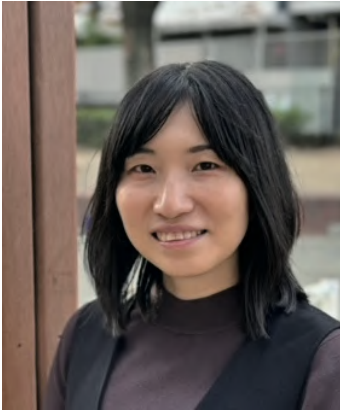
2013年 公益社団法人日本医師会 薬務対策室長

2016年 東京慈恵会医科大学医学研究科博士課程修了

2022年 帝京平成大学准教授／福島県立医科大学特任准教授

2024年 福島県立医科大学准教授

私は製薬学科を卒業後、出身地の広島県にて行政職につき、その後しばらく国の業務を行いました。その際に担当した国際業務で修士・博士を修めていることの必要性を感じ、仕事をしながら課程を修了しましたので博士号取得が遅く、教員としては新米です。帝京平成大学勤務時は同窓生が私を入れて6名おり、中でも同門(薬化学研究室)の先輩にはよく雑談の話し相手になってもらいました。また、先輩方には特に厚生労働省でご指導いただき、様々な仕組みを学ぶことができました。同窓会の活動に参加し始めたのも、厚生労働省の先輩方が声をかけてくださったのがきっかけです。現在、薬学部を超えて理窓会(東京理科大学校友会)の副会長を務めておりますが、このお役目もまた薬学部同窓会の先輩の後押しがあってこそ。先輩から私が受けとった分をどんどん後輩に返していければと思います。さて、2023年11月に国際ファーマコビジランス学会に参加しました折、2022年4年制卒(佐藤嗣道研)の阿部美有さんと会いました。彼女にとっては初の国際学会でしたが、同窓生がいることで少しは安心感を感じてもらえたのではないかと思います。なお、阿部さんがポスター賞3位を受賞されましたことを彼女に代わりここに報告いたします。



奥村 真以 (39期 平成14年 (2002年) 薬学科卒)

【略歴】

2002年 東京理科大学薬学部薬学科 卒業

2002年 キッセイ薬品工業株式会社 入社 臨床開発部

2004年 同 事業開発部

39期の奥村真以と申します。私は東京理科大学薬学部卒業後、キッセイ薬品工業(株)に入社しました。2004年から事業開発部に所属し、海外の新薬を日本の患者さんに、あるいは自社創製の新薬を海外の患者さんに届けるために、他社とのライセンス提携の企画・交渉を行っており、やりがいのある日々を過ごしています。自分が導入した薬剤について医療現場からの感謝の声が届いた時の感動はひとしおです。そして日常的に海外の製薬・バイオテック企業の方々と接し、グローバルなビジネス感覚を養うことができ、良い刺激を頂いています。国内の他社の事業開発の方々とも、win-winの事業提携を目指し日々交流しており、他社であっても仲間のような存在なのですが、偶然にも理科大卒の先輩方が多くご活躍されています。同窓であることから、私が事業開発の世界に入りすぐに名前や顔を覚えていただきました。先輩方は惜しみなく、貴重なご経験、ノウハウ、ネットワークなどを共有してくださり、いつも助けていただき、同窓の有難さを感じています。これから社会に踏み出す皆さんにどこかでお会いしたら、今度は私が助けになればと思います。皆さんが充実した社会人生活を過ごされるよう祈念いたします。



折山 豊仁 (43期 平成18年 (2006年) 薬学科卒)

【略歴】

2006年3月 東京理科大学薬学部薬学科卒業

2006年4月 東京大学医学部附属病院薬剤部 研修生

2006年10月 東京大学医学部附属病院薬剤部 技官

2011年3月 東京理科大学大学院薬学系研究科修士課程 修了

2015年1月 東京大学医学部附属病院薬剤部 薬剤主任

2021年3月 東京理科大学大学院薬学研究科薬科学専攻博士後期課程 修了

2024年4月 東京大学医学部附属病院薬剤部 助教

43期の折山豊仁と申します。平成18年3月に薬学科を卒業した後、東京大学医学部附属病院薬剤部に入職し、現在に至っています。この間に、社会人として東京理科大学大学院薬学系研究科の修士課程と博士後期課程に入学し、臨床現場の薬剤師が研究することの重要性についてさらに深く学ぶことができました。私は病院薬剤師として主に病棟業務や医薬品情報業務、がん治療に関連する業務を行っていますが、臨床業務を行う中で、日常的に生じる悩みや疑問点などに対して、科学的なアプローチを行うことが重要なのは言うまでもありません。ですが、そういったことに継続的に取り組むことは大変でもあり、同じ志向性をもった仲間は何にも代えがたい貴重な存在です。そのような時に理科大同窓生というつながりはその仲間に出会える有難い絆だと感じています。これからも同じ大学で学んだ仲間同士、切磋琢磨しながら皆が幅広く活躍していくことを願っています。



片山 陸 (51期 平成26年 (2014年) 薬学科卒)

【略歴】

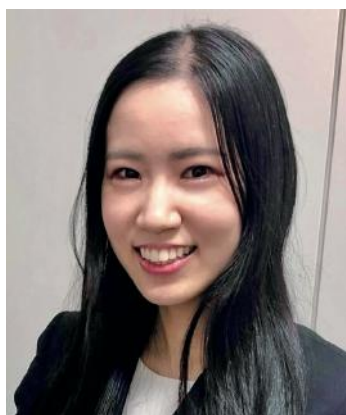
2014年	東京理科大学薬学部薬学科	卒業
2014年	株式会社メディカルイノベーション	入社 医療コンサルタント
2015年	株式会社ワイエム	入社 薬局薬剤師
2018年	株式会社ファーマクラウド	入社 ITエンジニア
2019年	株式会社ザイシ	代表取締役 薬局お茶の水ファーマシー
2022年	株式会社ファシネーション	代表取締役 薬局ガレリア

51期の片山陸と申します。現在は東京都赤羽で一人で薬局を運営したり、薬に関する書籍を書いたりしています。新卒で医療コンサルタントになったり、調剤薬局で働いたり、薬局の効率化を追及してIT会社でプログラミングを習得したりと、その時々に応じて必要があると感じた仕事で働いていました。

そのうちに、知人の薬局の立て直しを任されました。立て直しの際、専門分野は近隣医療機関、周辺の急性疾患は薬剤師がOTCや零売で対応する流れを作りました。また、当時は零売の実態を書いた本がなかったので、同人誌として自分で書きました。その後、薬局から独立して、自分で今まで培ったスキルを使って商売をするべく、面薬局を開設して今に至ります。

本の監修と即売会の売り子を理科大の先輩にお願いしているうちに、同窓会にお誘いをいただきました。街の薬剤師としても、企業や行政、アカデミアの視座はとても刺激的で、忌憚なく議論できる場として大変貴重なものと実感しています。働いていると、いろんな業界の話が必要になっていくものです。

同窓会に若い方が少ないんだよね、と上村先生が嘆いていました。一度くらい顔を見に行きましょう。そこで出会う同窓とも業界の話を共有して、また現場に戻ると、新鮮な空気で働けるかもしれません。



杉山 真麻子 (55期 平成30年 (2018年) 薬学科卒)

【略歴】

2018年4月	厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課
2020年2月	内閣府食品安全委員会事務局評価第一課
2022年8月	厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課
2024年4月	消費者庁食品衛生基準審査課
2024年7月	消費者庁食品衛生基準審査課新開発食品保健対策室

私は、これまでに厚生労働省において医薬品の安全対策や審査管理に関する業務のほか、出向先の内閣府において食品添加物の健康影響評価の業務に携わりました。

本省の仕事としては、現在生じている問題や、現行の制度で上手くいかない点を解決することが仕事のひとつと考えており、病院、薬局、製造販売業者、製造業者、卸売業者等のそれぞれの立場でどのような問題で困っているのかを十分知る必要があると考えております。そのため、さまざまな業界等の考えを知ることができるよう常にアンテナや視野を広げたいと思っていますので、理科大薬学部卒の先輩方が、製薬企業やCROの各職種、病院薬剤師、薬局薬剤師、行政等の非常に広い範囲でご活躍されていることが大変心強いです。

対照的に、食品安全委員会での業務においては、動物試験や体内動態等に関する多くの文献・試験データを読む機会が多く、薬学部で学んだ基礎知識をベースに更に専門的な知識を得ながら仕事をする必要がありました。薬学部で学んだ知識に加え、大学時代に身につけた勉強の仕方も役に立ちました。

同窓のご縁で皆様とお知り合いになれることを願うとともに、これからの皆様のご活躍を祈念しております。

東京理科大学薬学部同窓会について

設立趣旨

東京理科大学薬学部同窓会は、「会員相互の親睦を厚くし、会員の教養、学識および職能の向上を図るとともに、東京理科大学薬学部の教育および研究の発展に寄与することを目的」（会則第1章第3条）とし、設立されました。

会員の状況

2024年3月現在、会員数**11,212**名です。

主な活動

- 年4回 **定例会・懇親会**を開催しています。定例会はオンラインも併用していますので、遠方の方でも参加できます。日程はホームページをご覧ください。
- 年1回の**同窓会総会**において、学内外の講演者を迎え時折の話題について講演会を開催しています。
- 年に1度、**同窓会会報「ふなかわら」**を発行し、薬学部および東京理科大学の現況、同窓会活動、卒業生の短信などを会員にお知らせしています。
- 薬学部の講義「実践社会薬学」「キャリア学習」などで**講師を務める卒業生を推薦**しています。
- 薬学部の先生方が主催される**学会などを支援**しています。
- 毎年、日本薬剤師会学術大会に合わせて、会場近くで**地区交流会**を開催しています。普段定例会や総会に出席できない方も、近くにお住まいであればぜひご参加ください。
- 各同期会の開催に**補助金30,000円を支援**しています。
- **理窓会主催**の行事「ホームカミングデー」などに協力しています。

会費

年会費 2,000 円となっております。また、**終身正会員制度（終身会費 50,000 円）**があります。家族会員として、正会員の一親等親族および配偶者の年会費・終身会費は1/2になります。卒業前・修了前だけの特典として、会費一括納入割引制度を設けております。

割引制度については、いずれか1つのみの適用となります。

* 2025年4月より、会費改訂の予定です。

東京理科大学薬学部同窓会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は東京理科大学薬学部同窓会と称する。

(事務所の所在地)

第2条 本会は事務所を千葉県野田市山崎 2641 番地 東京理科大学薬学部におく。

(目的)

第3条 本会は会員相互の親睦を厚くし、会員の教養、学識及び職能の向上を図るとともに、東京理科大学薬学部の教育及び研究の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は上記の目的達成のため次の事業を行う。

1. 本会の目的遂行のため必要な印刷物の発行
2. 研究会、講演会、その他各種集会の開催
3. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会員

(会員の資格)

第5条 本会は次の会員をもって構成する。

1. 会員 東京理科大学薬学部の卒業生及び大学院修了者
2. 正会員 会員のうち会費を納めたもの
3. 準会員 本学薬学部在籍する学生
4. 特別会員 本薬学部現及び元職員及び本学薬学部出身者以外で本会の目的に賛同され、定例会で承認されたもの(但し、正会員であるものは除く)

(会員の義務及び権利)

第6条 会員は会則第3条の趣旨にのっとり、会長その他の要請に応じ本会の事業に協力しなければならない。

2. 会員は本会において定める年会費もしくは終身会費を納めなければならない。
3. 会員は氏名、住所、職業など身上に異動を生じた時には、遅滞なく名簿システムに登録しなければならない。
4. 会員は本会の事業に参加することができる。

第3章 役員

(役員の種類)

第7条 本会には次の役員をおく

- | | |
|----------|---|
| 会長 1名 | 定例会に於いて正会員の中より推薦し、総会の承認を得るものとする。 |
| 副会長 5名以内 | 会長が正会員より推薦し、総会の承認を得るものとする。ただし、年齢、性別、職域などに偏りがないように努める。 |
| 顧問 | 同窓会の役員を永年務め、同窓会に功労のあった人を正副会長会で推薦し、総会の承認を得るものとする。 |
| 幹事 | 会長が、原則として各卒業年度の各学科から1名以上を正会員より選出する。 |
| 会計担当幹事 | 正副会長会において正会員の中から推薦し、総会の承認を得るものとする。 |
| 監査役 2名 | 総会の承認を得るものとする。 |

(役員職務)

第8条 各役員職務は次の通りとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を統理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
3. 顧問は同窓会の運営に対して助言する。
4. 幹事は定例会を組織し、本会の運営を統轄し、管理する。
5. 会計担当幹事は本会の会計を統轄し、管理する。
6. 監査役は会計その他を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は4年とし、再任を妨げない。但し、補欠役員任期は前任者の残存期間とする。

第4章 会議

(会議の種類)

第10条 本会の会議は、総会、定例会、及び正副会長会とする。

(総会)

第11条 総会は次の場合に開かれる。

1. 定期総会 毎年1回会長が招集する。
2. 臨時総会 定例会が必要と認めたととき及び2割に当たる正会員が特に開催を請求したとき。

(定例会)

第12条 定例会は、会長、副会長、幹事、会員、準会員、特別会員及び会長が認める者が参加でき、定期的に会長がこれを招集する。

2. 本会の目的を達成するために必要な事業について検討を行い、実施するものとする。

(正副会長会)

第13条 正副会長会は、会長及び副会長で構成し、会務の重要事項について議論するために、必要に応じて会長がこれを招集する。なお、会計担当幹事、監査役および顧問は必要に応じて、会長が召集する。本会は会長の出席と2名以上の副会長の出席をもって成立する。

(会議の議決)

第14条 総会の議決は、出席正会員の過半数の同意をもって成立する。可否同数のときは議長の決するところによる。なお、正副会長会及び定例会の議決は全体的合意で行う。

(総会の議長)

第15条 総会の議長は総会において正会員の中より選出される。

(定例会の議長)

第16条 定例会の議長は、会長がこれにあたる。

(総会の承認事項)

第17条 次の事項は総会の承認を得なければならない。

1. 会長・副会長・会計担当幹事・監査役の選任
2. 事業計画及び収支予算
3. 事業報告及び収支決算
4. その他定例会及び正副会長会が必要と認めた事項

(会議の記録)

第17条の2 議長は各会議における経過について、これを記録しなければならない。

第5章 庶務及び会計

(事業年度)

第18条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第19条 本会の経費は原則として会費及び寄付金、その他をもってこれにあてる。

(会費)

第20条 会費は、年会費2,000円とする。終身会員の会費(終身会費)は50,000円とする。ただし、特別会員に会費納入の義務はない。

なお、会員の一親等親族及び会員の配偶者の、年会費及び終身会員の会費は1/2とする。

第20条の2 卒業前(大学院生も含む)の会費の一括納入に関しては以下のように扱う。

10年会費	18,000円	(卒業後は20,000円)
終身会費	30,000円	(卒業後は50,000円)

第6章 会則の改正

(会則の改正)

第21条 本会則の改正は、正会員がこれを必要と認めた場合、改正案を定例会に提出し承認を経て総会にはかることができる。この場合、総会への提案者は定例会とする。

付 則

(平成15(2003)年7月26日改正)

会則は平成15(2003)年7月26日より施行する。

(平成16(2004)年7月24日改正)

会則は平成16(2004)年7月24日より施行する。

(平成17(2005)年7月23日改正)

会則は平成17(2005)年7月23日より施行する。

(平成25(2013)年7月27日改正)

会則は平成25(2013)年7月27日より施行する。

(令和元(2019)年7月20日改正)

会則は令和元(2019)年7月20日より施行する。

(令和3(2021)年7月20日改正)

会則は令和3(2021)年7月20日より施行する。

*令和7(2025)年4月より、第2条および第20条は改訂の予定です。



東武アーバンパークライン(野田線)運河駅



同窓会が植樹したセイヨウトチノキ



東京理科大学薬学部同窓会へのお問合せ

【事務所・連絡先】

東京理科大学薬学部 同窓会事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内

E-mail : jimmu@ridaiyakudo.gr.jp

E-mailまたは郵送でお願いいたします。開局日に順番に対応させていただきます。

*2025年4月より、大学薬学部の移転に伴い、住所変更の予定です。

【ホームページ】

<http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>

行事などに関する最新の情報を掲載しておりますので是非ご覧ください。